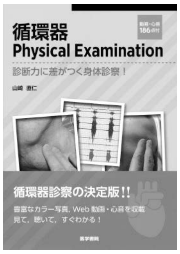
書評

［評者］
室生　卓
倫生会みどり病院心臓弁膜症センター内科/院長



循環器Physical Examination［動画・心音186点付］
診断力に差がつく身体診察！

山崎直仁 著

●B5　頁188　2017年9月
定価：本体5,000円+税
［ISBN978-4-260-03235-3］医学書院刊

著者の山崎直仁先生は毎年開催される「循環器physical examination講習会」の主要メンバーである．彼のレクチャーはわかりやくす，またウィットに富んでおり，毎回参加者からの評価も非常に高い．その高評価の本質はしっかりした基本とその上に積み上げられた豊富な経験と知識に裏付けられた彼の実力である．いわば，毎日数千回に及ぶヒンズースクワットで鍛え上げられた足腰の上に百戦錬磨の実戦経験を積んだ本格派ストロングスタイルである．

本書は内科臨床誌『medicina』の連載「診断力を上げる　循環器Physical Examinationのコツ」を再編成したもので各論は，基本編とも言える「1．循環器Physical Examinationのコツ」と，実践編の「2．症例から学ぶ　循環器疾患の診かた」の2部構成になっている．両編とも一つひとつの記載がしっかりしていてあいまいなところがなく初学者にもわかりやすい．

さらに本書のもう一つの特徴はストレートな記載にならんで全編にふんだんに用いられているカラー動画，シェーマと心音である．いずれも非常にわかりやすく説得力がある．Physical examinationは患者から直接得られる情報を自らの五感で収集し自らの経験と知識で判断するものである．その分「見方」「聴き方」「触り方」とその解釈のいずれにおいても実力の差が如実に現れることになる．血液検査ならばその結果は数値で得られ，基準範囲が与えられるから少なくとも正常，異常の判別に迷うことはない．本書では重要な所見が「百聞は一見に如かず」（聴診は「一聴」か）と言わんばかりの説得力で動画や心音で体験できる．まさにベッドサイドで山崎先生と回診をしているかのような臨場感があり，読んでいて楽しくなってくる．

これから循環器のphysical examinationを学ぼうとする初学者はもちろんだが，教育的立場の指導医，あるいはphysical examinationには結構自信があるという「猛者」を自認する人でも歯ごたえは十分の書と言える．小手先でなく本格的にphysical examinationを学ぼうと思う人に最適の書である．

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2018
2026/09/22 17:16:29